

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	10
事業名	河川維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	8	3	1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施 策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	住民が安全・安心して暮らせるよう水害を未然に防止に努める。
事業内容		町が管理する河川の維持管理を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				891		1,859		10,738	
財源 内訳	直接事業費A			33		473		9,352	
	うち一般財源			33		473		9,352	
人件費（千円）B				858		1,386		1,386	
内訳	一般職員（人・千円）			0.13	858	0.21	1386	0.21	1386
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行う必要がある。	③取組の課題	県の予算の範囲内での対応となることから、全ての箇所に対応することは困難である。
②R5年度に実施した取り組み	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行った。	④今後の改善計画	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行う必要がある。